

高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド

高所作業車は、高所での作業を安全かつ効率的に行うために使用される特殊車両です。
様々な種類があり、それぞれの特徴と用途を理解することで、作業現場に最適な車両を選択できます。



高所作業車の主な種類

高所作業車は、大きく分けて以下の3つの要素によって分類できます。

①昇降装置の種類 ②走行装置の種類 ③動力の種類

①昇降装置の種類

- **直伸ブーム型**
ブームが伸縮することで昇降するタイプ。
高所へのアクセスに優れています。
- **屈折ブーム型**
ブームが屈折することで昇降するタイプ。
障害物を避けながら高所へアクセスできます。
- **混合ブーム型**
伸縮と屈折の両方の機能を備えたタイプ。
幅広い作業範囲に対応できます。
- **垂直昇降型**
作業床が垂直に昇降するタイプ。
狭い場所での作業に適しています。
- **シザース型**
ジャッキの様にアームが伸びて昇降するタイプ。
広い作業床が特徴です。

②走行装置の種類

- **トラック式**
トラックの荷台に昇降装置を搭載したタイプ。
公道を走行できるため、移動に便利です。
- **ホイール式**
タイヤで走行するタイプ。
舗装された路面での移動に適しています。
- **クローラ式**
クローラ（キャタピラ）で走行するタイプ。
不整地や悪路での走行に適しています。

③動力の種類

- **エンジン式**
ディーゼルエンジンなどを動力とするタイプ。
屋外での作業に適しています。
- **バッテリー式**
バッテリーを動力とするタイプ。
屋内や騒音を避けたい場所での作業に適しています。
- **ハイブリッド式**
エンジンとバッテリーの両方を搭載したタイプ。
状況に応じて動力を使い分けられます。
- **手動式**
手動で走行もしくは昇降させる。
小型の高所作業台に多い。

高所作業車を選ぶ際のポイント

高所作業車を選ぶ際は、以下のポイントを考慮することが重要です。

- 作業高さ：必要な作業高さに合った昇降装置を選ぶ。
- 作業場所の環境：作業場所の路面状況や広さに合った走行装置を選ぶ。
- 作業内容：作業内容に合った作業床の広さや形状を選ぶ。
- 動力源：作業場所の環境や騒音規制などを考慮して動力源を選ぶ。

高所作業車の資格

高所作業車を運転するには、作業床の高さによって必要な資格が異なります。

- 作業床高さ 10m 未満：特別教育の受講が必要
- 作業床高さ 10m 以上：技能講習の受講が必要

高所作業車の技能講習は光東教習センターへ

詳細はこちらの URL から

<https://www.koto-corp.co.jp/service/training/license/awp.html>



直伸ブーム型

屈折ブーム型

混合ブーム型

垂直昇降型

シザース型

高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド



直伸ブーム ブームが伸縮することで昇降するタイプ。高所へのアクセスに優れています。

昇降動力	走行装置	高さ					
		9.7m	12m	13m	18m	19m	21m
エンジン	クローラ	NUS10N・AC-100TG・SR10A 1210	AC-121TG・SR12B 01212	NUL13Suj 01213	SR18A 01218	SR19CSM 01219	NUS21N・SR21A 01221
	タイヤ		NUS12W 1312				



高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド



屈折ブーム型 ブームが屈折することで昇降するタイプ。障害物を避けながら高所へアクセスできます。

昇降動力	走行装置	高さ						
		7m	8.8m	9m	9.3m	12m	14m	18m
バッテリー	クローラ	NUL07E 1206						
	タイヤ		WU09ARN・Z30/20NRJ 1208				Z45/Z25JDC 01314	Z-60 01319
エンジン	クローラ	NUL070R 1207		NUL09 1209	NUZ09A 1215	NUL120-6 01211		NUL18uj・NUS18JN-7 01217



高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド



混合ブーム型 伸縮と屈折の両方の機能を備えたタイプ。幅広い作業範囲に対応できます。

昇降動力	走行装置	高さ	
		13m	13.7m
エンジン	クローラ	NUZ13uj 01214	
	タイヤ		S-45 1316



NUZ13uj

S-45

スーリ東光

NAGANO

高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド



垂直昇降型 作業床が垂直に昇降するタイプ。 狭い場所での作業に適しています。

昇降動力	走行動力	走行装置	高さ				
			4m	4.5m	5m	8.9m	9.1m
バッテリー	バッテリー	クローラ	RM04B 01103		RM05C1NS 01110		
		タイヤ	SV04B 01101				
手動	手動	タイヤ		MWA-65 01100			
AC	手動	タイヤ				EWA-89 01109	AWP30S 01109

RM04B

SV04B

MWA-65

RM05C1NS

EWA-89

AWP30S



高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド



シザー型 (3m-9.7m) ジャッキの様にアームが伸びて昇降するタイプ。広い作業床が特徴です。

昇降動力	走行動力	走行装置	高さ							
			3m	4m	4.5m	5m	6m	7m	8m	9.7m
バッテリー	バッテリー	クローラ			ENCL045S 01104	RX05B 01105	ENCL061S 01116	RX07B 01107		
		タイヤ			ENTL045S 01203		ENTL061S 01106		GS-2632・SV08E1NL 01108	GS3246 01119
	手動	タイヤ	YS30 01102	ENHL038 01112						



YS30



ENHL038



ENCL045S



RX05B



ENTL045S



ENTL061S



ENCL061S



RX07B



SV08E1NL



GS-3246



GS-2632

高所作業の安心・安全・効率全力サポートガイド

高所作業車(台)は、高所での作業を安全かつ効率的に行うために使用される特殊車両です。
高所作業車(台)の使用に当たって、作業者の安全を守る上の十分な安全対策をお願い致します。



1. 作業前の点検

● 使用高所作業車(台)の点検

使用する高所作業車の動力部の確認(エンジンの場合はオイル、冷却水、燃料の状態、バッテリーの場合は充電状況や電源コードの状態など)
タイヤやクローラの状態の確認
昇降装置、ブレーキ、アウトリガーなどの作動状況の確認(手動昇降式の場合ワイヤ等の状況確認)
作業台に損傷がないかの確認(手すりや床板、安全带取付設備等)
機械に付帯する安全装置(警報装置、過負荷防止装置など)の作動確認

● 作業場所の確認

作業場所の地盤の確認(床面が水平で安定しているか)
作業場所の周囲の確認(障害物など)
作業範囲場所の安全確保(立ち入り禁止区域の設定など)

● 保護具の確認

ヘルメット、安全带(6.75以上であればフルハーネス型)の着用
作業に適した服装、靴の着用
保護に損傷や劣化がないか確認

2. 作業中の安全対策

● 安全帯の着用

高所作業車に乗車する際は、必ず安全帯を着用し、正しく装着されているかを第3者に確認してもらい、フックを所定の場所に確実に掛ける

● 積載荷重の厳守

高所作業車の積載荷重を必ず守り、過積載にならないようにする

● 作業姿勢の安定

作業中は、作業台の上で安定した姿勢を保ち、無理な体勢での作業は避ける

● 周囲への注意

作業中は、常に周囲の状況に注意を払い、他の作業者や障害物に接触しないようにする。常に地上の作業補助員に安全確認をしてもらう。

● 作業台内部の整理整頓

作業に必要な道具や材料は、作業台の上に整理整頓し、落下防止措置を講じる

3. その他

● 作業計画の作成

作業前に、作業手順、安全対策などを記載した作業計画を作成し、作業者全員で共有する

● 作業者の教育・訓練

高所作業車の操作、安全対策などに関する教育・訓練を定期的実施する

● 法令遵守

労働安全衛生法などの関係法令を遵守し、高所作業に関する安全基準やガイドラインを遵守する

● 緊急時の対応

万が一の事故に備え、緊急時の連絡体制、避難経路などを確認しておく

ご安全に！

